

平成 24 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議事要旨

1. 日時 平成 25 年 3 月 4 日(月)13:30-15:00

2. 場所 国立情報学研究所 19 階会議室

3. 議事内容

① 新委員の紹介

坂内本部長から、資料 1 に基づき、交代(伊藤義人委員、中野博隆委員、安田弘法委員、金子敏明委員、斉藤真司委員)、新規(宮寺庸造委員)について、紹介があった。

② 平成 25 年度学術情報ネットワークの整備計画について

坂内本部長から、平成 25 年度の予算状況について説明があった。

③ SINET の現状と今後

漆谷委員から、資料 3 に基づき、SINET の現状と今後について説明があった。他の委員からの意見は以下の通り。

- ・ 回線の帯域がボトルネックになるようではよくない。予算状況が厳しい中、大変かもしれないが、国際連携を含め、インフラの重要性を強調して是非、実現してほしい。(後藤委員)
- ・ 次期 SINET にも大変期待をしている。各大学の基盤サービスも、今後はクラウド化していくと思うが、大学だけでは進みにくい。クラウドサービスを NII でどこまで提供していく計画を持ち、今後この方面についても NII で音頭を取ってくれるとありがたい。(下條委員)
→基本は NII のミッションと思うが、一方でアカデミアの全体的なアクティビティの下、各大学情報基盤センター等と NII でインタークラウド連携基盤をつくっていくことが重要。その基盤上で、各大学で提供しているサービスを延長するかたちでクラウドサービスを提供できるとよいと考える。(坂内本部長)
- ・ 次期 SINET においても、先端研究向けからユニバーサルサービスまで幅広くカバーする内容になっているが、この厳しい財政事情の中で、どうメリハリをつけて基盤整備を進めていくのか。(岡部委員)
→先端研究とユニバーサルサービスは分けられるものではなく、シームレスかつダイナミックな情報基盤を提供するという SINET3 からの理念は今後も継承していく。100G 等の超広帯域利用にあたっては財務当局の理解を得ながら対応の負担が必要と考えている。(坂内本部長)

④ 企画作業部会報告

安達委員から、資料 4 に基づき活動報告（次期 SINET 構想、オープンフォーラム開催）があり、今後次期 SINET を集中して議論・検討するために、来年度の企画作業部会の開催回数を増やしていくこととした。また坂内本部長から、旧ノード、非ノード分け隔てなく利活用できる環境を提供していくという SINET の基本方針について補足説明があった。

⑤ ネットワーク作業部会報告

漆谷委員から資料 5 に基づき活動報告（新サービス開発状況、次期 SINET）があった。今後は関係大学と連携して新サービスのトライアル実施・拡張を行う旨の説明があった。

⑥ 認証作業部会報告

岡部委員から資料 6 に基づき、活動報告（学認の NII 事業化検討、認証タスクフォース、サーバ証明書）があった。学認の事業化については、移行の進め方について承認された。また、鍵長 2048bit 未満の証明書の 6 月末停止と年内の失効について、インパクトが大きいが速やかに加入機関にアナウンスしていく旨の報告があった。

⑦ 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

曾根委員から資料 7 に基づき、活動報告（サンプル規程集の構成本書見直し、普及促進活動、平成 25 年度活動計画）があった。

⑧ その他

- ・ 学術情報ネットワーク外部諮問委員会について安達委員から説明があった。
- ・ 第 22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランへのご協力について安達委員から依頼があり、詳細は追って本部委員ミーリングリストで 3 月中に案内することとした。
- ・ TEIN*CC/TEIN4 の状況について後藤委員から説明があった。
- ・ 平成 25 年度運営・連携本部の進め方について、坂内本部長から説明があり新所長である喜連川委員が紹介された。また本部委員については改めて依頼する旨が伝えられた。

以上